

障連協にゅーす

第50号

発行日

2023年1月25日

発行者

特定非営利活動法人
旭川障害者連絡協議会

【目次】 ・理事長あいさつ
・各種事業報告（「障害者週間」記念事業 / 障害者スポーツミニフェスタ / ほか



新年あけましておめでとうございます。



「新年を迎えて」



理事長 松山 伸



新年明けましておめでとうございます！今年の干支は「うさぎ（兔）」です。兔は、俊敏な動き、悪い状況の中からの逃げ足が早い等の意味がある「脱兎のごとく」です。「かめ」のようなしつかり地に足を付けた余裕、マイペースも必要ですが、今の時代の変化には、兔のような迅速な行動力、瞬発力が求められます。今年は、変化の激しい時代に対応できる兔のパワーを身につけたいものです。

昨年の障連協は、新型コロナウイルスの感染状況が減少傾向にあったことで、予定していた事業をほぼ実施することができました。みんなで一つのことを達成する作業は会員相互の交流となり、コミュニケーション

ョンを生み、心の絆も深まります。昨年、何とか事業が出来たことは、コロナの2年間の眠りから朝を迎えたような感じがします。まだまだ、新型コロナやいろいろな課題もありますが、みんなの力を一つにして、更に活動を前進させましょう。

また、12月の「障害者週間」記念事業では「地域共生社会を考える」をテーマとして、旭川大学保健福祉部の長濱教授に講演を頂き、障連協の内部研修の位置づけての開催といたしました。

「地域共生社会」は、国民が、すべて等しくお互いに人格と個性を尊重し合う社会です。その実現は、突き詰めると、障害者が住みやすい環境がより整備された社会を実現させることです。私たち当事者が、今まで以上に声を出していく必要を感じます。市が「地域共生社会」に係る条例を制定した動きは、1歩前進であり、この機会を逃さず、今年は、各団体の力をパワーアップして、障連協が結束していきたいと思います。

会員の皆さん、今年もよろしくお願ひいたします。

笑門来福

「障害者週間」記念事業開催！

記念講演「地域共生社会を考える」

講師に 旭川大学教授 長濱 章雄 先生をお招きしました。

12月4日、令和4年度 旭川市「障害者週間」記念事業を新型コロナウイルスの感染対策を徹底して開催しました。

今年のテーマは、「**地域共生社会を考える**」。旭川市が、昨年の3月、「地域共生社会」条例を制定したことから、障連協の内部研修を兼ねて行ったものです。

当日は、170人の参加者が集まり盛会のうちに終了することができました。予想以上に、「地域共生社会」への関心の高さが伺えました。

オープニングに神楽岡太鼓保存会の演奏から始まり、足下からの地響きに似た感触と空気の振動が伝わり勇ましく迫力のある演奏でした。

続く開会式では、中村 寧 副市長から主催者あいさつ、実施団体として松山障連協理事長から参加して頂いた方にお礼のあいさつをいたしました。来賓には、大沼克己 旭川市社会福祉協議会会長において頂きご挨拶を頂きました。

記念講演は、講師に、旭川大学保健福祉学部コミュニティ福祉学科の長濱章雄教授をお招きして、1時間30



講演する旭川大学長濱教授

共生社会とは

共生社会

これまで十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的・主体的に参加・貢献していくことができる社会

すべての人々がお互いの人権や尊厳を大切に、さまざまな人々が、その多様な在り方を相互に認め合える社会

障害の有無に関わらず、また、支える人と支えられる人に分かれることなく、共に支え合い、自分たちのもつ能力が十分に発揮できる社会

講演資料から抜粋しました

分間にわたりお話をいただきました。

講演では、障害者に係る法令に基づき、障害の問題は障害者が経験する社会的不利のことで、身の回りにある「不当な差別的取扱いと考えられる例」を具体的に示しながら、誰もが、等しくお互いに人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に向けて、当事者としてどう考えるかについて講演されました。

講演は、障連協ホームページからYouTubeにリンクしています。よろしければご覧下さい

「障害者週間」記念事業での盛り上がりを今後の障害者福祉の向上に繋げていきましょう。

事業所販売の様子

北高ボランティアの皆さんと ゆっきりん



こちらから記念講演を見ることができます。



障害者スポーツミニフェスタ 実施

楽しい時間を軽レクで 約70人参加！



「幸運ゲーム」でカードを引く参加者

9月25日、軽レクを組み合わせ、誰もが競技に参加内容としたミニフェスタを開催しました。実行委員と一般参加者合わせて約70名が参加し、「幸運ゲーム」、「どんな景品かな？」などカードを引いて景品を当てるゲームで運を試しました。



今津市長からご挨拶を頂きました

企画して頂いた障害者スポーツ協会の皆さんありがとうございました。

障害者スポーツ教室「軽レクエーション教室（種目 モルック）」

8月28日、今、テレビなどで紹介され人気のモルックを行いました。難しいルールでなく、みんなですぐに楽しめる競技です。当日は、参加者21人で、4人1チームとなり、総当たりのゲームを楽しみ、大変盛り上がりました。来年度も開催しますので、是非ご参加下さい。



障害者水泳記録会の結果報告

水泳記録会は、今年もコロナのため、一堂に会さないで水泳サークル毎にサークルの活動時間内で記録を測定する方法で開催しました。当日は、スポーツ協会から役員を派遣し公正な記録を測る体制としました。開催は、6サークルが参加し、10月25日、11月5日の両日で行われ、エントリーした選手には市長名の記録証が手渡されました。

- = 今後の行事日程 =
- レク・ボッチャ教室 2月12日(日)13時～
- スカットボール教室 3月19日(日)13時～



新年を迎えました。全国的に社会活動、経済活動が回復してきてますが、旭川市は、まだまだ新型コロナの拡大が止まりません。障連協の新年交礼会も中止となりました、またまた冬の寒さが身に染みます。だけど、いつまでもコロナのせいにはされません。そういう中でも自分なりの自分の生活を作っていきましょう。でも、早く皆で 集まって、飲んで、歌って、大いに話したいですね。今年も良い年にしましょう。

どうぞご覧下さい
障連協ホームページ
アドレス/QRコード



<https://shourenkyo.org/>

発行日/ 2023年1月25日
編集/ 特定非営利活動法人 旭川障害者連絡協議会
発行者/ 理事長 松山 伸

住所/ 旭川市宮前1条3丁目3番7号
障害者福祉センター「おぴった」3階
Tel・fax/ 0166-31-2226

